

2024 年度

名古屋大学大学院

環境学研究科博士前期課程

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

学生募集要項

(2024 年 4 月入学第 I 期募集)

名古屋大学大学院

環境学研究科

【重要】 インターネット出願サイトにおける事前手続きについて

環境学研究科への出願には、インターネット出願サイトでのマイページ登録や出願内容の登録、入学検定料の支払い等、事前手続きが必要です（「4. 出願手続き」参照）。

顔写真など登録に必要なデータ、発行された書類の印刷に必要なカラープリンター等機器、入学検定料の支払い方法等を予め確認の上、早めに準備を始め、出願時には必ず必要書類が手元にあるようにしてください。自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストア等、印刷できる環境を事前に確認してください。

なお、登録したメールアドレスには、入試に関する重要なお知らせを配信することがあります。変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるアドレスを登録してください。

【受験にあたっての注意事項】

*** 不測の事態が発生した場合の諸連絡**

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は定期的に確認してください。また、対面試験が急遽オンライン試験に変更される場合があります。

◇環境学研究科ホームページ

URL: <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/>

◇連絡窓口

名古屋大学大学院環境学研究科大学院係 TEL: 052-789-4272/4590

Email: env@adm.nagoya-u.ac.jp

※休日（土日・祝日）及び本学夏季休業日（8月11～20日）はメールでご連絡ください。

*** オンライン試験受験にあたっては、以下の行為を禁止します。**

- ・ 接続URLや接続日時など、試験に関する情報の第三者への漏洩あるいは公開
- ・ 試験実施方法や試験内容の第三者への漏洩あるいは公開
- ・ 試験中の録画・録音等（事前テスト等も含む）

※反した場合は、不正行為と見なします。

試験中の不正行為が判明した場合、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての成績は無効となります。また、提出書類における虚偽または不正の事実が判明した場合、その判明が入学後であっても試験不合格とし、厳正に対処します。

2024 年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程入学試験実施予定表

| 専攻名 | | 地球環境科学 専攻 | 都市環境学 専攻 | 社会環境学 専攻 |
|------------------------------|---------|--------------|-----------------------|-------------|
| 定員 | | 53 | 47 | 27 |
| 第Ⅰ期募集 (本要項による募集) | 一般選抜 | 実施する | 実施する | 実施する |
| | 留学生特別選抜 | 実施する | 実施する | 実施する |
| | 社会人特別選抜 | 実施しない | 実施する | 実施する |
| 第Ⅱ期募集 (2024年2月 試験実施予定) | 一般選抜 | 実施する | 第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する | 実施する |
| | 留学生特別選抜 | 実施する | 第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する | 実施する |
| | 社会人特別選抜 | 実施する | 第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する | 実施する |
| 秋入学募集 (2024年8月 試験実施予定) | 一般選抜 | 実施する | 実施する (持続発展学コースのみ) | 実施する |
| | 留学生特別選抜 | 実施する | 実施する (持続発展学コースのみ) | 実施する |
| | 社会人特別選抜 | 実施する | 実施する (持続発展学コースのみ) | 実施する |

(注) 「実施する」の場合も、系・コース等により受験に制限がある場合があるので、募集要項の詳細を確認すること。

アドミッション・ポリシー (学生受入方針)

本研究科は、環境学を支える自然、都市、社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに、専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し、さらに、その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために、本研究科は、惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状、動態、変遷を探究する地球環境科学専攻、都市の社会基盤、建築物などの人工環境を創造し、水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻、人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し、環境政策を提言する社会環境学専攻、から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって、持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。

Department of

Earth and Environmental Sciences

Department of

Environmental Engineering and Architecture

Department of

Social and Human Environment



(1) 入学者受入れの方針

<博士前期課程>

専門分野の深化、横断的な思考力の獲得、環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち、確かな基礎学力を持つ人を、広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

<博士後期課程>

専門分野の高度な学力、専門知識の幅広い応用力を有し、専門分野の深化、横断的な思考力の獲得、環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち、研究者やリーダをめざすために十分な研鑽を積んだ人を、広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

(2) 選抜の基本方針

<博士前期課程>

専門分野および英語の基礎学力、専門知識の応用力、横断的思考力、勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験、口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては主に受験生の基礎学力を評価し、口述試験においては主に学生の意欲を評価します。

<博士後期課程>

研究者や社会で活躍するリーダをめざすために必要な専門分野および英語の学力、専門知識の応用力、横断的思考力、勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験、口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては研究者や社会で活躍するリーダをめざすための学力を、口述試験においては十分な研鑽実績と意欲を評価します。

2024年4月に本学大学院環境学研究科〔博士前期課程〕に入学する学生を下記の要項により募集する。

出願にあたっては、一般選抜のほか、外国籍を有し、本研究科に在留資格「留学」で在学することができる者は、留学生特別選抜を選択できる。また、学部卒業以降、2024年3月31日までに2年以上の社会人（家事・家業従事者、退職者等を含む）経験を有する者は、社会人特別選抜を選択できる。

出願にあたっては指導希望教員への事前連絡や受験の内諾等を必要とする場合もあるので、受験を希望する試験の注意事項をよく確認すること。

詳しい内容については本募集要項のほか、別ファイルの「2024年度名古屋大学大学院環境学研究科入学（進学）試験受験案内（以下、受験案内）」もあわせて確認すること。

1. 出願資格

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2024年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項第1号の規定により学士の学位を授与された者及び2024年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 2024年3月31日までに、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（ただし、上記資格(1)該当者は除く）
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2024年3月31日までに22歳に達する者

* 出願資格(9)、(10)により出願しようとする者は、出願資格の有無について事前審査を実施するので、本研究科大学院係に照会の上、2023年6月9日（金）までに所定の申請書類を提出すること。合計16年の課程を修了していない者は、事前審査を受けなければならない。

※出願資格(9)のうち、「大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（いわゆる飛び級）」に対する選抜の実施の有無は以下のとおりである。

| 専攻 | 系・コース | I期入試 | II期入試 | 秋入学 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 地球環境科学 | 地球惑星 | 実施する | 実施しない | 実施しない |
| | 大気水圏 | | 実施する | 実施しない |
| 都市環境学 | 持続発展学 | 実施する | 実施しない | 実施しない |
| | 建築学 | | | |
| 社会環境学 | | 実施しない | 実施する | 実施しない |

注意事項:「大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（いわゆる飛び級）」に対する入学者選抜により入学した者は、在学中の大学は退学となり、学士の学位を修得しないまま大学院博士前期課程に入学することとなる。したがって、大学の学部卒業を要件とする各種国家試験等においては、受験資格を満たさないこととなるので注意すること。

2. 募集人員

| | |
|----------|-----|
| 地球環境科学専攻 | 53名 |
| 都市環境学専攻 | 47名 |
| 社会環境学専攻 | 27名 |

*募集人員には、本募集の人員、2024年2月実施の第II期募集の人員が含まれる。さらに、地球環境科学専攻、都市環境学専攻持続発展学コース及び社会環境学専攻に関しては、2024年8月実施予定の2024年秋入学募集の人員も含まれる。（留学生特別選抜による各専攻の定員5名、社会人特別選抜による若干名を含む。）

*都市環境学専攻持続発展学コース及び建築コースに入学可能な人員については、受験案内を参照すること。

3. インターネット出願サイトでの登録期間および入学検定料支払い期間、願書受付期間

インターネット出願サイトでの登録期間及び入学検定料払込期間：2023年6月19日（月）～7月6日（木）

願書受付期間：2023年7月3日（月）～7月7日（金）16時（必着、郵送のみ受付）

4. 出願手続き

- まず、別記資料「インターネット出願の流れ」を参照して、インターネット出願サイトでマイページの登録、出願内容の登録、入学検定料の支払い等、STEP 1～STEP 5の手続きを行うこと。
- インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払い完了後、ダウンロードできる書類に含まれる「出願書類提出用宛名シート」をカラー印刷し、市販の角形2号封筒に貼り付けて願書送付用の封筒を用意すること（「インターネット出願の流れ」STEP 6（必要書類の印刷と郵送）参照）。なお、海外から追跡可能郵便サービス（EMS等）により願書を送付する場合は、「11.その他（8）連絡先」宛てに願書受付期間必着で郵送すること（この場合「出願書類提出用宛名シート」は使用しなくてよい）。
- 「6. 提出書類」にある出願に必要な書類全てを同封筒に封入の上、願書受付期間に必着するよう簡易書留郵便または速達書留郵便で郵送すること。

※英語外部検定試験のスコアシート等を願書とは別途送付する場合、下記の期日までに「11.その他（8）連絡先」宛てに簡易書留郵便または速達書留郵便にて必着で郵送すること（「出願書類提出用宛名シート」は使用しなくてもよい）。

<スコアシート提出期限>

8月4日（金）16時（必着）

- 出願書類は、願書受付期間における最終日の16時までには到着したものに限り受理する。ただし、7月5日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り、期限後に到着した場合も受理する。

(5) 出願手続きに関する注意事項

- ・出願手続きは、インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを簡易書留郵便または速達書留郵便で郵送することにより、完了する。インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払いが完了していても、願書受付期間内に書類が届かなければ出願は受理できないので注意すること。
- ・不測の事態に備え、出願書類は可能な限り願書受付期間最終日の前日までに到着するようにすること。
- ・出願書類に不備のある場合は受理しない。
- ・出願手続後の書類の書き換え及び書類の返還には応じない。

5. 入学検定料の支払い

(1) 入学検定料 30,000 円

※別途、支払い手数料（500 円程度）が必要である。

※出願時において国費外国人留学生は入学検定料の支払いは不要である。出願時に「検定料の免除について」をチェックすること。

(2) 支払い期間（日本時間）

2023 年 6 月 19 日（月）～7 月 6 日（木）まで

※支払い期間の最終日は、願書受付期間の最終日と異なる点に注意すること。

※出願書類の到着期限は 2023 年 7 月 7 日（金）16 時郵送必着となるので、検定料は早めに支払うこと。

(3) 支払い方法

支払いは、別記「インターネット出願の流れ STEP 5（入学検定料の支払い）」で指定するいずれかの方法で上記支払い期間内に行うこと。

(4) 入学検定料の支払いに関する注意事項

- ・入学検定料の支払い期限は、インターネット出願サイトで出願内容を登録した日から登録日を含め 4 日間である（但し、支払い期間最終日までの日数が 4 日より短い場合は、支払い期間最終日まで）。期限内に支払いがない場合、登録した出願内容は自動的にキャンセルとなるので注意すること（キャンセルとなった場合は再登録が必要）。
- ・出願内容登録の際、入学検定料の支払い方法にクレジットカードを選択した場合、出願登録と同時に支払いが完了するので注意すること。

(5) 入学検定料の返還について

出願書類の受理後は、納入済みの入学検定料を返還しない。ただし、下記に該当する場合は、返還にかかる振込手数料を差し引いた上で納入された入学検定料を返還する場合がある。

①入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

②入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は金額が大きく減額される他、返還に長い日数を要するので、納入は慎重に行うこと。返還の請求方法については、名古屋大学ホームページ→入学案内（受験生応援サイト NU START GUIDE へ移動）→大学院入試→入学検定料の支払いについて（[URL](#)）を確認すること。

6. 提出書類

入学志願者は、次の書類を上記「4. 出願手続き」に従って本研究科に提出すること。

| 全出願者が提出する書類 | | |
|-------------|---|--|
| 1 | 名古屋大学大学院 志願票 | インターネット出願サイトからダウンロードした書類をA4用紙にカラー片面印刷すること。 |
| 2 | 写真票 | インターネット出願サイトからダウンロードした書類をA4用紙にカラー片面印刷すること。インターネット出願サイトで顔写真をアップロードする際は（インターネット出願の流れSTEP4, ⑤）、出願前3か月以内に撮影した2MB以内のデータとすること。 ※研究科指定欄1~3はそのまま空欄とすること。 |
| 3 | 環境学研究科志願調査票・履歴書 | 本研究科所定の様式。研究科ホームページからダウンロードした書類をA4用紙に片面印刷すること（白黒印刷可）。 ※合格通知送付先・連絡先がインターネット出願サイトで登録した住所と異なる場合は、「環境学研究科志願調査票」の連絡先に記入すること。 |
| 4 | 志願理由書 | 本研究科所定の様式。研究科ホームページからダウンロードした書類をA4用紙に片面印刷すること（白黒印刷可）。 ※志願する専攻の書式を用いること。 |
| 5 | 成績証明書 | 学部（教養課程を含む）の成績を証明するもの 出身大学長又は学部長が作成し、改ざんが行えない処理が施されたもの。編入学者は、編入学前の学校が発行した証明書も併せて提出すること。 外国の大学を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること（コピーは不可）。成績評価基準が分かる資料をあわせて提出すること。 ※1 中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。 |
| 6 | 学位証明書（卒業証明書） あるいは卒業見込証明書 | 外国の大学を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること（コピーは不可）。 ※1 中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。 |
| 7 | TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本 <有効な検定種目> ・TOEFL iBT (Internet-Based Test) ・TOEIC Listening & Reading Test ・IELTS アカデミック・モジュール | 2021年8月1日以降に受験した以下のいずれかを提出すること（コピー不可。直送制度は本研究科では取り扱わない。また、電子発行されたpdf等は原本として受理しない）。なお、提出された書類は返却しない。 ・TOEFL “Test Taker Score Report”* (Home Editionを含む、MyBest™スコアは採用しない。) ・TOEIC “Official Score Certificate” 〈公式認定証〉 ・IELTS “Test Report Form” 〈成績証明書〉 *地球環境科学専攻を受験する者については2022年12月に名古屋大学で実施したTOEFL-ITPの「TOEFL ITP Score Report」の原本も受け付ける。 ※社会環境学専攻で社会人特別選抜を受験する者、また、自己推薦入試を受験する者で英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了した者、あるいは卒業・修了予定の者は、スコアシートの提出を必要としない。 |

| | | |
|--------------------------|--------------|---|
| | | ※出願時にスコアシートを提出できない場合やスコアの差し替え等に関する取扱いについては、各専攻の選抜方法及び受験案内を確認すること。 |
| 8 | 類型該当性の自己申告書 | 本研究科所定の様式 ※2 |
| 以下、該当する者のみが提出する書類 | | |
| 9 | 自己推薦書 | 地球環境科学専攻、都市環境学専攻建築学コースまたは社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者 地球環境科学専攻もしくは社会環境学専攻の自己推薦入試を受験する者は、本研究科所定の用紙に記入したもの。都市環境学専攻建築学コースの自己推薦入試を受験する者は、本募集要項で指示する所定の様式に従い、10ページ以内にまとめたもの。 |
| 10 | 追加入学志願調査票 | 地球環境科学専攻（大気水圏科学系）を受験する者 |
| 11 | 研究計画書 | 社会環境学専攻を受験する者のみ提出。 1. 様式・分量は指定しない。A4用紙に印刷すること。 2. 次の項目については必ず記載すること。 ①問題の背景と研究の目的、②先行研究の状況、③研究の方法（枠組み、手法など） 3. 文献を適切に引用・参照すること。 |
| 12 | 在留カードの写し（両面） | 日本国籍を有しない者のみ提出（日本国永住許可を得ている者を除く）。 海外在住者はパスポートの写しを提出。 |
| 13 | 国費外国人留学生証明書 | 国費外国人留学生のみ提出。 ただし、名古屋大学に在学中の国費外国人留学生は提出不要。 |

※1 中国の大学を卒業した者が出願する際の注意事項

中国の大学卒業者の(5)成績証明書、(6)卒業（見込）証明書について疑義がある場合、中国政府直轄財団「中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）」が運営している、「中国学位・学歴認証システム」により学歴を確認することがある。

※2 「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における学生への機微技術提供の一部が外為法の管理対象となった。これに伴い、本学に学生として出願する者は、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要である。また、合格時に別途「誓約書」の提出を求める場合がある。

7. 選抜方法等

入学者の選抜は、一般選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜に分けて行い、出願書類、学力検査により総合的に判定し、合格者を決定する。

各選抜の学力検査試験実施時期等については、P.2の「2024年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程入学試験実施予定表」を参照すること。

各試験の詳しい内容については、本募集要項のほか、別ファイルの受験案内もあわせて参照すること。

7.1 地球環境科学専攻

地球環境科学専攻には、地球惑星科学系と大気水圏科学系がある。

地球惑星科学系には、地球環境システム学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学、地球惑星ダイナミクス、地球史学の各分野がある。

大気水圏科学系には、地球環境変動論、気候科学、物質循環科学、地球水循環科学の各分野がある。

(7.1.1) 地球惑星科学系志願者

① 一般選抜

学力検査は、普通入試（英語、専門科目、口述試験）または自己推薦入試（英語、口述試験）により行う。試験科目「英語」については、出願時に「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお、有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。試験科目「専門科目」の出題内容については、別ファイルの受験案内を参考にすること。

自己推薦入試では、筆記試験（専門科目）の出題分野を十分に学んでいない受験生の中から、地球惑星科学を学び研究する意欲を持つ者を書類と面接により選抜する。地球惑星科学系の受験志願者は普通入試と自己推薦入試の一方または両方を受験することができるので、自己推薦入試を受験するものは自己推薦書（研究科の様式）を提出すること。ただし、名古屋大学理学部地球惑星科学科に在学中もしくは当学科を2019年3月以降に卒業したものは自己推薦入試の受験資格はない。

筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場において対面式で行う。

なお、希望研究テーマなどについて、事前に志望分野の教員とできる限り連絡を取ること。事前連絡がない場合、志望分野の教員が電子メールなどで連絡することがある。

| 試験種別 | 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 集合場所（注4） |
|--------|---------------|-------------|----------------|----------------------|
| 普通入試 | 2023年8月21日（月） | 14：00～17：00 | 専門科目（筆記試験）（注1） | 環境総合館3階 講義室1，講義室3 |
| | 2023年8月22日（火） | 9：00～12：00 | 口述試験（注2） | 環境総合館3階 |
| 自己推薦入試 | 2023年8月22日（火） | 13：00～16：00 | 口述試験（注3） | 演習室1，演習室2 |

(注1) 出題内容

- 地球惑星科学の基礎となる分野の8問（地球環境学、地球科学Ⅰ、地球科学Ⅱ、地球科学Ⅲ、物理学、化学、生物学、数学）から、任意の2問を選択する。
- 専門科目の出題範囲は、別ファイルの受験案内の地球環境科学専攻の「2. 専門科目の出題範囲」の項目を参照すること。
- 試験時に各受験者に関数電卓を貸し出すため、個人の関数電卓の持ち込みは認めない。

(注2) 卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容などについて、口頭試問を行う。

(注3) 卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容、自己アピールしたい点などについて、5分以内で発表すること。その内容に基づいて口頭試問を行う。発表には白板とPCプロジェクターを使用できる。Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS：Windows）が用意されている。発表用ファイルをUSB

メモリに入れて持参すること。

(注4) 試験開始 20 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

② 留学生特別選抜

学力検査は、英語と専門科目及び口述試験により行う。試験科目「英語」については、出願時に「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお、有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。試験科目「専門科目」については、語学力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に希望指導教員に連絡をとること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目 (試験方法) | 集合場所 (注4) |
|---------------|-------------|------------------|-----------------------|
| 2023年8月21日(月) | 14:00~17:00 | 専門科目 (筆記試験) (注1) | 環境総合館3階 講義室1, 講義室3 |
| 2023年8月22日(火) | 9:00~12:00 | 口述試験 (注2) | 環境総合館3階 演習室1, 演習室2 |
| | | 英語面接 (注3) | |

(注1) 既習内容に即した専門科目から出題する。日本語の読解力等を考慮し、出題及び解答は日本語または英語とする。

(注2) 「①一般選抜」の(注3)に同じ。

(注3) 志望動機や入学後の研究計画などについて、英語で口頭試問を行う。

(注4) 試験開始 20 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

③ 社会人特別選抜

第I期募集においては、社会人特別選抜は実施しない。第II期募集において社会人特別選抜を実施する予定である。

④ スコアシート提出方法

「4. 出願手続き(3)」にある提出書類を送付する方法で、2023年8月4日(金)16:00必着で本研究科に提出すること。また、出願時にスコアシートが準備できている場合、入試志願票などの必要書類を送る封筒に同封し、本研究科に提出してもよい。なお、提出後のスコアシートの差し替えは認めない。

⑤ 第2志望

受験者は志望する分野を第2志望まで記入することが可能である。教員1名が受け入れることのできる学生数には上限があり希望する教員を指導教員にできない場合があるので、できるだけ第2志望を記入すること。合格してかつ指導教員が第1志望以外になる場合はその旨を合格通知とともに通知する。

(7.1.2) 大気水圏科学系志願者

① 一般選抜

学力検査は、普通入試（英語、専門科目、口述試験）または理系の学部・学科以外の出身者のみを対象とする自己推薦入試（英語、口述試験）により行う。試験科目「英語」については、「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。試験科目「専門科目」については、大気水圏科学の基礎となる7分野（地球環境学、地球物理学、地球化学、物理学、化学、生物学、数学）から任意の2分野について口頭で試問する。

普通入試と自己推薦入試については、どちらか一方のみ受験することができる。自己推薦入試を受験する者は自己推薦書（研究科の様式）を提出すること。名古屋大学の活動指針に応じて、すべての試験をオンライン試験に変更する場合がある。また、オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。必ず、環境学研究科のホームページで最新の入試情報を確認すること。

なお、研究テーマなどについて、事前に希望指導教員へできる限り連絡をとること。

| 試験種別 | 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 集合場所（注5） |
|----------------|---------------|---------------|--------------------|-------------------------|
| 普通入試 | 2023年8月21日（月） | 13：00～ | 専門科目（口述試験） （注2） | 環境総合館1階111号室 （第1会議室） |
| | 2023年8月22日（火） | 9：00～, 13：00～ | 口述試験（注3） | 環境総合館1階111号室 （第1会議室） |
| 自己推薦入試 （注1） | 2023年8月22日（火） | 9：00～, 13：00～ | 口述試験（注4） | 環境総合館1階111号室 （第1会議室） |

（注1）大気水圏科学系の自己推薦入試は、理系の学部・学科以外の出身者を対象とする。

（注2）大気水圏科学の基礎となる7分野（地球環境学、地球物理学、地球化学、物理学、化学、生物学、数学）から、任意の2分野について試験を実施する（各科目30分）。来学しての受験を原則とするが、受験のための来学が困難な場合には、オンラインでの試問を選択できる。受験を希望する2分野と試験実施方法を「追加入学志願調査票（大気水圏科学系）」に記入して提出すること。出願時に申告した試験希望分野の変更は認めない。各分野の出題範囲は、別ファイルの受験案内の地球環境科学専攻の「2. 専門科目の出題範囲」の項目を参照すること。また7月28日（金）までに、「追加入学志願調査票」に記入した連絡先へ、E-mail等により専門試験の詳細を通知する。

（注3）卒業研究の内容や前期課程で研究したい内容などについて口頭試問を行う。来学しての受験を原則とするが、受験のための来学が困難な場合には、オンライン試験として実施する。「追加入学志願調査票（大気水圏科学系）」に必要事項を記入して提出すること。7月28日（金）までにE-mail等により口述試験の指定時刻等を通知する。

（注4）卒業研究の内容や自己アピールしたい点、前期課程で研究したい内容などについて、5分以内で発表すること。その後、発表内容について、質疑応答を行う。来学しての受験を原則とするが、受験のための来学が困難な場合には、オンライン試験として実施する。「追加入学志願調査票」に必要事項を記入して提出すること。来学しての受験では、発表に白板とPCプロジェクターを使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS：Windows）が用意されている。発表用ファイルをUSBメモリに入れて持参すること。7月28日（金）までにE-mail等により口述試験の指定時刻等を通知する。

（注5）試験開始10分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。試験科目「英語」については、「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお、有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。

とする。試験科目「専門科目」については、大気水圏科学の基礎となる7分野（地球環境学、地球物理学、地球化学、物理学、化学、生物学、数学）から任意の2分野について口頭で試問する。専門試験の出題等については、語学力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に希望指導教員に連絡をとること。名古屋大学の活動指針に応じて、すべての試験をオンライン試験に変更する場合がある。また、オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 集合場所（注3） |
|---------------|---------------|----------------|-------------------------|
| 2023年8月21日（月） | 13：00～ | 専門科目（口述試験）（注1） | 環境総合館1階111号室 （第1会議室） |
| 2023年8月22日（火） | 9：00～, 13：00～ | 口述試験（注2） | 環境総合館1階111号室 （第1会議室） |

（注1）大気水圏科学の基礎となる7分野（地球環境学、地球物理学、地球化学、物理学、化学、生物学、数学）から、任意の2分野について口頭で試問する（各科目30分）。来学しての受験を原則とするが、受験のための来学が困難な場合には、オンラインでの試問を選択できる。受験を希望する2分野と試験実施方法を「追加入学志願調査票（大気水圏科学系）」に記入して提出すること。出願時に申告した試験希望分野の変更は認めない。各分野の出題範囲は、別ファイルの受験案内の地球環境科学専攻の「2. 専門科目の出題範囲」の項目を参照すること。また7月28日（金）までに、「追加入学志願調査票」に記入した連絡先へ、E-mail等により専門試験の詳細を連絡する。既習内容に即した専門科目から出題する。日本語の読解力等を考慮し、出題及び解答は日本語または英語とする。

（注2）志望動機や入学後の研究計画などについて、口頭試問を行う。来学しての受験を原則とするが、受験のための来学が困難な場合には、オンライン試験として実施する。「追加入学志願調査票」に必要事項を記入して提出すること。7月28日（金）までにE-mail等により口述試験の指定時刻等を通知する。英語で口頭試問を行うことがある。

（注3）試験開始10分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

③ 社会人特別選抜

第I期募集においては社会人特別選抜を実施しない。第II期募集において社会人特別選抜を実施する予定である。

④ スコアシート提出方法

スコアシートは、原則として出願書類提出時にその原本を同封するものとする。追加志願調査票に出願時のスコアシート所持状況を記入すること。出願書類提出時にスコアシートを提出できない場合には、「4. 出願手続き」(3)に記載の方法で提出すること。

⑤ 注意事項

名古屋大学の活動指針に応じてすべての試験をオンラインで行う場合がある。この場合、環境学研究科のホームページ、E-mail等によって連絡する。オンライン試験の希望者は、同室者がいない静穏な環境で、不正行為を疑われない場所を各自で用意すること。また、音声、映像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保すること。通信環境の問題で試験の実施に支障が生じた場合も、試験時刻の繰り下げ等を行わない（ただし、本人の責めに帰さないと認められる場合、考慮することがある）。オンライン試験の前に室内全体を写すよう指示する場合がある。オンライン試験の詳細についてはE-mail等により通知する。

⑥ 第2志望

一般選抜において、受験者は志望する指導教員を第2志望まで記入することが可能である。第2志望を記入した場合には、第1志望に不合格の場合でも第2志望で合格できることがあるので、第2志望も入力することを推奨す

る。志願者は受験案内やホームページなどを参考にし、教員の研究内容等を熟慮した上で志望先を決めること。志望先を決めるにあたっては担当教員と必ず連絡を取り、研究室を訪問することが望ましい。（各研究室または教員の連絡先は別ファイルを参照）。なお、教員1名が受け入れることのできる学生数には上限があるため、希望する教員を指導教員にできない場合がある。合否は、系・講座ごとに総合的に判断するため、試験の得点順にならない場合がある。

7.2 都市環境学専攻

都市環境学専攻では、持続発展学系及び建築学系の教育研究内容にもとづき、持続発展学コース、建築学コースの2つの履修コースを設けている。履修コースごとに取得できる学位の分野が異なり、それぞれ修了要件が定められている。

学力検査は履修コースごとに実施し、日程、内容ともに異なる。また、併願はできない。したがって、履修コースと希望する指導教員をあらかじめ選択の上、受験する必要があるので注意すること。

各履修コースの教員名および教育研究内容を別ファイル「指導教員および教育研究内容の一覧」に示すので、受験に際しての参考にすること。なお、両コースにまたがる教育研究分野を担当している一部教員は、両コースに重複して記載している。

「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」参加者の選抜は、都市環境学専攻持続発展学コースの入試に則って実施する。同プログラムへの参加を希望する者は、持続発展学コースを受験すること。また、同プログラムの詳細については、別ファイルの受験案内を参照すること。

第I期募集（本募集要項によるもの）では、以下の日程で入試を行う。なお、都市環境学専攻の入学者の選抜については、第I期募集における合格者数等の状況を勘案して、第II期募集（2024年2月実施予定）を実施する場合がある。

<持続発展学コース>

| 試験区分 | 試験種別 | 日付 |
|---------|-----------------|------------------------|
| 一般選抜 | 一般A（総合） | 2023年8月23日（水）～8月24日（木） |
| 一般選抜 | 一般B（土木工学系出身者向け） | 2023年8月22日（火）～8月24日（木） |
| 留学生特別選抜 | | 2023年8月23日（水）～8月24日（木） |
| 社会人特別選抜 | | 2023年8月23日（水）～8月24日（木） |

<建築学コース>

| 試験区分 | 試験種別 | 日付 |
|---------|--------|------------------------|
| 一般選抜 | 自己推薦入試 | 2023年8月4日（金） |
| 一般選抜 | 普通入試 | 2023年8月24日（木）～8月25日（金） |
| 留学生特別選抜 | | 2023年8月24日（木）～8月25日（金） |
| 社会人特別選抜 | | 2023年8月24日（木）～8月25日（金） |

【都市環境学専攻における試験科目「英語」の取扱い】

試験科目「英語」については、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め、その点数を換算して採点する。有効なスコアシートについては、「6. 提出書類」を参照すること。また、スコアの換算方法については、別ファイルの受験案内を参照すること。有効なスコアシートが提出されなかった場合は、試験科目「英語」の点数を零点とする。

スコアシートは、原則として出願書類提出時にその原本を同封するものとする。但し、出願書類提出時にスコアシートを提出できない場合、又は新たに取得したスコアシートと差し替えたい場合は、封筒の表面に「スコアシート在中（都市環境学専攻）」と朱書きの上、「4. 出願手続き」の(3)に従って期限までに別途提出すること。

(7.2.1) 持続発展学コース

【重要】 事前手続きの関係上、外国籍を有し、本研究科に在留資格「留学」で在学を予定する者は、試験の区分（一般選抜、留学生特別選抜）にかかわらず、希望指導教員に受験の了承（内諾）を得た上で出願すること。

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。一般Aでは幅広い分野の学部出身者を想定した試験、一般Bでは土木工学系の学部出身者を想定した試験を行うので、いずれかを選択して出願すること。

<一般 A (総合)>

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| 2023年8月23日（水） | 9：30－11：30 | 専門科目（筆記試験）（注1） | 環境総合館3階講義室1 |
| | 13：00－14：00 | 小論文（筆記試験）（注2） | 同上 |
| 2023年8月24日（木） | 9：00－12：00 | 面接（注3） | 前日試験場で指示する |

(注1) (1) 環境工学・環境政策, (2) 環境化学の2分野から計5問が出題されるので、任意に3問を選択して解答する。各分野の出題数および出題範囲は、別ファイルの受験案内を参照すること。

(注2) 小論文1問を出題する。出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

(注3) 主として、志望の動機、これまでの研究内容、入学後の学修・研究計画、及びこれらに関連する事項について試問する。

<一般 B (土木工学出身者向け)>

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|---------------|-------------|----------------|----------------|
| 2023年8月22日（火） | 13：30－16：30 | 基礎科目（筆記試験）（注4） | ES 総合館 025 講義室 |
| 2023年8月23日（水） | 9：00－12：00 | 専門科目（筆記試験）（注5） | 同上 |
| 2023年8月24日（木） | 9：00－12：00 | 面接（注6） | 前日試験場で指示する |

(注4) 小論文と応用数学の複数問から任意に3問を選択して解答する。出題数および出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

(注5) (1) 構造・材料工学, (2) 地盤工学, (3) 水工学, (4) 計画学, (5) 環境工学の5分野から計11問が出題されるので、5問を選択して解答する。1つの分野から選択可能な問題は2問までとする。各分野の出題数および出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

(注6) 主として、志望の動機、これまでの研究内容、入学後の学修・研究計画、及びこれらに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。出題等にあたり、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り、受験の内諾を得ること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| 2023年8月23日（水） | 9：30－11：30 | 専門科目（筆記試験）（注1） | 環境総合館3階講義室1 |
| | 13：00－14：00 | 小論文（筆記試験）（注2） | 同上 |
| 2023年8月24日（木） | 9：00－12：00 | 面接（注3） | 前日試験場で指示する |

(注1) (1) 環境工学・環境政策, (2) 環境化学の2分野から計5問が出題されるので、任意に3問を選択して解答する。各分野の出題数および出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

(注2) 小論文1問を出題する。出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

(注3) 主として、志望の動機、これまでの研究内容、入学後の学修・研究計画、及びこれらに関連する事項について

試問する。

③ 社会人特別選抜

社会人特別選抜の学力検査は、以下の日程で行う。出題等にあたり、社会経験、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り、受験の内諾を得ること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|---------------|----------------------|----------------|------------|
| 2023年8月23日（水） | 9：00－18：00 （個別実施） | 口述試験（対面口述）（注1） | 個別に通知する |
| 2023年8月24日（木） | 9：00－12：00 | 面接（注2） | 前日試験場で指示する |

（注1）一人あたり約30分の口述試験を行う。試験内容、試験時間、及び実施方法等の詳細については、受験の内諾を得た希望指導教員もしくは入試担当者から個別に通知する。

（注2）主として、志望の動機、社会経験、既習分野、入学後の学修・研究計画、及びこれらに関連する事項について試問する。

④ その他

出題範囲、受験にあたっての注意事項等、試験の詳細については別ファイルの受験案内を参照すること。

(7.2.2) 建築学コース

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。自己推薦入試の志願者には、志願票とともに別途、これまでの学修等活動の内容と入学後の学修や研究等に関して記した自己推薦書の提出を求める。志願票と自己推薦書をもとに書類審査を行い、下記の日程で実施される口述試験の受験可否を連絡する。なお、自己推薦入試と普通入試の両方に出願することはできない。また、自己推薦入試で合格し、本学に入学した者に対して修了時に授与される学位は修士（環境学）であり、修士（環境学）としての修了要件を満たすことが求められる。

<自己推薦入試>（注1）

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|--------------|-------------|------------|----------------------|
| 2023年8月4日（金） | 13：00～ | 試験場集合 | 下記参照 |
| | 13：30～17：30 | 口述試験（注2） | ES 総合館5階 会議室1（注3） |

（注1）自己推薦書は所定の様式に従って10ページ以内にまとめ、志願票とともに提出すること。自己推薦書の作成においては、必要に応じて図表や写真等を掲載してもよい。なお、建築学コースの自己推薦入試では、明確な将来のビジョンを持ち、これまでの経験と自らの能力により建築学の新しい分野を切り開くことができる人材を求めている。これらの点と、入学後実施する学修や研究等の関係が明確になるように自己推薦書を作成すること。

（注2）口述試験では、受験者が志願票とともに提出した自己推薦書をもとに口頭発表し、その内容に関して質疑応答を行う。

（注3）受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、別途通知する。

<普通入試>

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） | 試験場 |
|---------------|-------------|---------------------------|--------------------------|
| 2023年8月24日（木） | 13：00～ | 試験場集合 | 下記参照 |
| | 13：30～18：40 | 専門科目Ⅰ「計画系・設計製図」（筆記試験）（注1） | ES 総合館4階 製図室（注2） |
| | 13：30～17：30 | 専門科目Ⅰ「環境系」「構造系」（筆記試験）（注1） | 環境総合館1階 レクチャーホール（注3） |
| 2023年8月25日（金） | 9：00～12：00 | 専門科目Ⅱ（筆記試験）（注4） | 環境総合館1階 レクチャーホール（注3） |
| | 13：30～（注5） | 面接（注6） | 環境総合館3階 講義室2と講義室3（注3） |

（注1）専門科目Ⅰ（筆記試験）では、(1) 計画系・設計製図、(2) 環境系（設備・環境）及び(3) 構造系（構造・材料）の3分野から1分野を選択して解答する。選択する分野は、別ファイルの受験案内に従って事前に申請すること。

（注2）「計画系・設計製図」を選択した受験者は、13：00にES 総合館1階に集合すること。

（注3）受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、別途通知する。

（注4）専門科目Ⅱ（筆記試験）では、建築、都市に関わる、意匠・歴史・計画・設備・環境・構造・材料の全分野からの問題に解答する。

（注5）受験者の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、後日通知する。

(注6) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り、受験の内諾を得ること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目 (試験方法) | 試験場 |
|---------------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 2023年8月24日(木) | 13:00~ | 試験場集合 | 下記参照 |
| | 13:30~18:40 | 専門科目 I 「計画系・設計製図」 (筆記試験) (注1) | ES 総合館 4 階 製図室 (注2) |
| | 13:30~17:30 | 専門科目 I 「環境系」「構造系」 (筆記試験) (注1) | 環境総合館 1 階 レクチャーホール (注3) |
| 2023年8月25日(金) | 13:30~ (注4) | 面接 (注5) | 環境総合館 3 階 講義室 2 と講義室 3 (注3) |

(注1) 専門科目 I (筆記試験) では、(1) 計画系・設計製図、(2) 環境系 (設備・環境) 及び(3) 構造系 (構造・材料) の3分野から1分野を選択して解答する。選択する分野は、別ファイルの受験案内に従って事前に申請すること。

(注2) 「計画系・設計製図」を選択した受験者は、13:00にES総合館1階に集合すること。

(注3) 受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、別途通知する。

(注4) 受験者の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、後日通知する。

(注5) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について日本語で試問する。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。出願にあたっては、必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り、受験の内諾を得ること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目 (試験方法) | 試験場 |
|---------------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 2023年8月24日(木) | 13:00~ | 試験場集合 | 下記参照 |
| | 13:30~18:40 | 専門科目 I 「計画系・設計製図」 (筆記試験) (注1) | ES 総合館 4 階 製図室 (注2) |
| | 13:30~17:30 | 専門科目 I 「環境系」「構造系」 (筆記試験) (注1) | 環境総合館 1 階 レクチャーホール (注3) |
| 2023年8月25日(金) | 13:30~ (注4) | 面接 (注5) | 環境総合館 3 階 講義室 2 と講義室 3 (注3) |

(注1) 専門科目 I (筆記試験) では、(1) 計画系・設計製図、(2) 環境系 (設備・環境) 及び(3) 構造系 (構造・材料) の3分野から1分野を選択して解答する。選択する分野は、別ファイルの受験案内に従って事前に申請すること。

(注2) 「計画系・設計製図」を選択した受験者は、13:00にES総合館1階に集合すること。

(注3) 受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、別途通知する。

(注4) 受験者の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、後日通知する。

(注5) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

④ 試験場所

出題範囲, 受験にあたっての注意事項等, 試験の詳細については別ファイルの受験案内を参照すること。

7.3 社会環境学専攻

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。試験科目「英語」については、出願時に「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお、有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。

筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。

なお、志願者は、志願分野及び指導教員を決定するにあたり、出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

| 試験種別 | 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） |
|------------|---------------|------------|----------------|
| 普通入試 | 2023年8月21日（月） | 9：30～11：30 | 専門科目（筆記試験）（注1） |
| | | 14：00～ | 口述試験（注2） |
| | 2023年8月22日（火） | 9：30～ | 口述試験（注2） |
| 自己推薦入試（注3） | 2023年8月21日（月） | 14：00～ | 口述試験（注2,4,5） |
| | 2023年8月22日（火） | 9：30～ | 口述試験（注2,4,5） |

（注1）専門科目（筆記試験）は、入学志望分野からの出題に解答すること。

専門科目（筆記試験）では、辞書・電卓等の持ち込みを認めない。

専門科目（筆記試験）の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

| | |
|---------|---|
| 環境政策論分野 | 環境政策に関する1問および、他分野（経済環境論・環境法政論・社会学・地理学）から任意で選択した1問の、合計2問に解答する。 |
| 経済環境論分野 | 以下から2問を選択し解答する。 環境経済学，経済理論，統計学，経営学総論，経営組織論 |
| 環境法政論分野 | 以下から2問を選択し解答する。 環境法，公法（行政法を中心に出题する），国際法，環境政治，環境ガバナンス |
| 社会学分野 | 社会学理論，社会調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 英文の設問を含む合計2問を出題する。 |
| 地理学分野 | 人文地理学，自然地理学，地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 英文の設問を含む合計2問を出題する。 |

（注2）各分野の口述試験の具体的な指定日時等については、後日、E-Mail等で通知する。

（注3）自己推薦入試を希望するものは、出願時までには指導希望教員から事前に了承を得なければならない。（自己推薦入試は、特に高い能力を有すると指導希望教員が判断した者のみ受験が認められる。それ以外の場合は普通入試を受験すること。なお、普通入試と自己推薦入試の併願は認めない。）また、入学志願調査票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある欄に、事前了承を得た教員名を明記すること。

（注4）自己推薦入試においても来学受験を原則とするが、受験のための来学が極めて困難な場合、Zoom等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は必ず、希望する指導教員の内諾を出願時までに取り、入学志願調査票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある欄にその旨を明記すること。（希望が必ず認められるわけではない。）オンライン受験の希望者は、上記日程の指定された時間（日本時間）に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお、通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合、欠席扱いとすることがある。

（注5）自己推薦入試のオンライン受験希望者には、後日、E-Mail等でオンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。試験科目「英語」については、出願時に「6. 提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお、有効なスコアシートが提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。

筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） |
|---------------|------------|----------------|
| 2023年8月21日（月） | 9：30～11：30 | 専門科目（筆記試験）（注1） |
| | 14：00～ | 口述試験（注2） |
| 2023年8月22日（火） | 9：30～ | 口述試験（注2） |

（注1、2）「①一般選抜」の（注1、2）に同じ。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。

なお、志願者は、志願分野及び指導教員を決定するにあたり、出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

| 日付 | 試験時間 | 試験科目（試験方法） |
|---------------|------------|----------------|
| 2023年8月21日（月） | 9：30～11：30 | 専門科目（筆記試験）（注1） |
| | 14：00～ | 口述試験（注2） |
| 2023年8月22日（火） | 9：30～ | 口述試験（注2） |

（注1）地理学分野の出題範囲は以下の通りである。地理学分野以外は、「①一般選抜」の（注1）に同じ。

| | |
|-------|--|
| 地理学分野 | 人文地理学，自然地理学，地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 合計2問を出題する。 |
|-------|--|

（注2）「①一般選抜」の（注2）に同じ。

④ スコアシート提出方法

「4. 出願手続き」と同じ方法で、封筒の表に「スコアシート在中（社会環境学専攻）」と朱書きし、2023年8月4日（金）16:00 必着で本研究科に提出すること。出願時にスコアシートが準備できている場合、入試志願票などの必要書類を送る封筒に同封し、本研究科に提出してもよい。なお、提出後のスコアシートの差し替えは認めない。社会人特別選抜を受験する者、また、自己推薦入試を受験する者で英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了した者、あるいは卒業・修了予定の者は、スコアシートの提出を必要としない。

⑤ 試験場所

各試験の会場は、後日、E-Mail 等で通知する。

7.4 採点評価・合否判定基準

| 専攻名 | 採点評価基準 | 合否判定基準 |
|----------|--|-----------------------------------|
| 地球環境科学専攻 | <p>①英語</p> <p>【一般選抜】</p> <p>TOEFL, TOEIC, IELTS のスコアにより、英語に関する基礎的能力を評価する。</p> <p>【留学生特別選抜】</p> <p>TOEFL, TOEIC, IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価するとともに、英語面接において、英語によるコミュニケーション能力を評価する。</p> <p>②専門科目（筆記試験またはオンラインによる専門試験）</p> <p>【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】</p> <p>大学院での専門的な学修・研究に必要な基礎学力及び理論的な思考力などを物理学、数学、化学、生物学、地球科学の基礎的な問題を通じて評価する。</p> <p>③口述試験</p> <p>【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】</p> <p>問われた事項を的確に理解し、適切に応える能力を評価する。</p> <p>【一般選抜（自己推薦入試）】</p> <p>大学院で学ぶ基礎的な能力を有するか否かについて、発表内容と試問結果から総合的に評価する。</p> | <p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p> |
| 都市環境学専攻 | <p>①英語</p> <p>TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。</p> <p>②専門科目</p> <p>持続発展学コースの専門科目、建築学コースの専門科目、専門科目Ⅰ及びⅡでは、大学院での学修・研究に必要とされる専門分野における基礎学力を評価する。</p> <p>③基礎科目（持続発展学コース）</p> <p>基礎学力および論述能力を評価する。</p> <p>④小論文（持続発展学コース）</p> <p>論述能力を評価する。</p> <p>⑤口述試験</p> <p>大学院での専門的な学修・研究に必要な能力と適性を評価する。問われた事項を的確に理解し、適切に応える能力を評価する。</p> <p>⑥面接（配点を行わないが合否判定の参考とする）</p> <p>卒業論文などの過去の実績、入学後の研究計画の発展性などを評価する。</p> <p>建築学コースの留学生特別選抜では、併せて日本語能力の評価も行う。</p> | <p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p> |

| | | |
|----------------|---|-----------------------------------|
| <p>社会環境学専攻</p> | <p>①英語（一般選抜・留学生特別選抜） TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。</p> <p>②専門科目（筆記試験） 大学院での学修・研究に必要とされる、各専門分野における基礎学力を評価する。</p> <p>③口述試験 【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜・社会人特別選抜】 卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。</p> <p>【一般選抜（自己推薦入試）】 専門知識を問う。卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。また，英語能力も判断材料とする。</p> | <p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p> |
|----------------|---|-----------------------------------|

7.5 配点表

| 専攻等名 | 一 般 選 抜 | | 留学生特別選抜 | | 社会人特別選抜 | |
|-------------------------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 科目名 | 配 点 | 科目名 | 配 点 | 科目名 | 配 点 |
| 地球環境科学専攻 (普通入試) | 英語 | 100 | 英語 | 100 | | |
| | 専門科目 | 100 | 専門科目 | 100 | | |
| | 口述試験 | 100 | 口述試験 | 100 | | |
| | 満 点 | 300 | 満 点 | 300 | | |
| 地球環境科学専攻 (自己推薦入試) | 英語 | 100 | | | | |
| | 口述試験 | 200 | | | | |
| | 満 点 | 300 | | | | |
| 都市環境学専攻 持続発展学コース (一般 A) | 英語 | 200 | 英語 | 200 | 英語 | 200 |
| | 専門科目 | 600 | 専門科目 | 600 | | |
| | 小論文 | 200 | 小論文 | 200 | | |
| | | | | | 口述試験 | 800 |
| | 面接 | 配点なし | 面接 | 配点なし | 面接 | 配点なし |
| | 満 点 | 1,000 | 満 点 | 1,000 | 満 点 | 1,000 |
| 都市環境学専攻 持続発展学コース (一般 B) | 英語 | 200 | | | | |
| | 専門科目 | 500 | | | | |
| | 基礎科目 | 300 | | | | |
| | 面接 | 配点なし | | | | |
| | 満 点 | 1,000 | | | | |
| 都市環境学専攻 建築学コース (普通入試) | 英語 | 200 | 英語 | 200 | 英語 | 200 |
| | 専門科目 I | 450 | 専門科目 I | 450 | 専門科目 I | 450 |
| | 専門科目 II | 350 | | | | |
| | 面接 | 配点なし | 面接 | 配点なし | 面接 | 配点なし |
| | 満 点 | 1,000 | 満 点 | 650 | 満 点 | 650 |
| 都市環境学専攻 建築学コース (自己推薦入試) | 英語 | 200 | | | | |
| | 口述試験 | 800 | | | | |
| | 満 点 | 1,000 | | | | |
| 社会環境学専攻 (普通入試) | 英語 | 100 | 英語 | 100 | | |
| | 専門科目 | 200 | 専門科目 | 200 | 専門科目 | 200 |
| | 口述試験 | 100 | 口述試験 | 100 | 口述試験 | 100 |
| | 満 点 | 400 | 満 点 | 400 | 満 点 | 300 |
| 社会環境学専攻 (自己推薦入試) | 口述試験 | 100 | | | | |
| | 満 点 | 100 | | | | |

8. 合格発表

2023年9月5日(火)午後1時頃〔予定〕環境学研究科ホームページにて発表する。追って郵送により判定結果を本人宛通知する。

9. 入学手続き

入学手続きは、2024年3月中旬に行う予定である。

詳細は合格者に対し文書により通知する(3月上旬に発送予定)。

なお、合格者のうち、有職者については入学手続き時に所属長の承諾書または、承諾書に代わる書類の提出を求める。

10. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円〔予定〕

(2) 授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円)〔予定〕

注1) 授業料は、前期及び後期の2期に分けて、入学年度前期にあつては5月、後期にあつては11月に納入する。

なお、入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

注2) 国費外国人留学生は、入学料及び授業料の納付は不要。

11. その他

(1) 出願資格、出願書類及び選抜方法等、本研究科の入学試験に関して不明な点は、出願に先立ち(8)に示す連絡先(大学院係)へ問い合わせること。

(2) 外国籍であり、海外で企業等に在職のまま、本研究科に入学を希望する者は、受験資格の有無を事前に大学院係に問い合わせること。(※本研究科に在留資格「留学」で在学することなどを条件とする。)

(3) 名古屋大学においては、構内への車両の入構規制を実施しているため、受験の際は、公共交通機関を利用すること。

(4) 名古屋市内に暴風特別警報、暴風警報もしくは気象等に関する特別警報が発令され、午前7時までに解除されない場合、あるいは災害発生時には、その日の試験の中止あるいは日程の変更がありうるため、本研究科ホームページ又は大学院係で確認すること。

(5) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。なお、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

(6) 入学試験成績の開示について

受験者本人からの申請に基づき、2024年度入学試験に係る試験成績について、受験者本人に開示する。

開示内容：入学試験の合計得点並びに募集単位別の合格者の最高点、最低点、及び平均点

※ただし、合格者の最高点、最低点及び平均点については、募集単位別の合格者が10人未満の場合は開示しない。

申請期間：2023年11月13日(月)～2023年11月17日(金)(郵送のみの受付)

申請方法：本研究科所定の「開示願」により、当該試験の受験票及び返信用封筒(切手貼付)を添付して申請すること。「開示願」については、下記(8)の連絡先へ照会して入手すること。

(7) 障がいのある者等の出願

障がい等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2023年6月23日(金)までに、以下の3点を添えて、下記(8)の連絡先へ申し出ること。(入学後の修学に関して相談の希望がある場合も、同日までに同連絡先に問い合わせること)

- ① 受験上の配慮申請書(志望専攻等, 障がいの状況, 受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの, 様式随意, A4 サイズ)
- ② 障がい等の状況が記載された医師の診断書, 障害者手帳等(写しでもよい)。
- ③ 障がい等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。

※ 適宜上記①～③以外の書類を添付しても構わない。

(8) 連絡先：名古屋大学大学院環境学研究科大学院係

〒464-8601 名古屋市千種区不老町環境総合館 D2-1 (510)

TEL 052-789-4272・4590

E-mail env@adm.nagoya-u.ac.jp

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
 出願に必要な書類は、環境学研究科学生募集要項を参照して準備してください。
 必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



※必要書類…顔写真データ、各種証明書

STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>

または、

大学ホームページ

▶ <https://www.nagoya-u.ac.jp/>

からアクセス

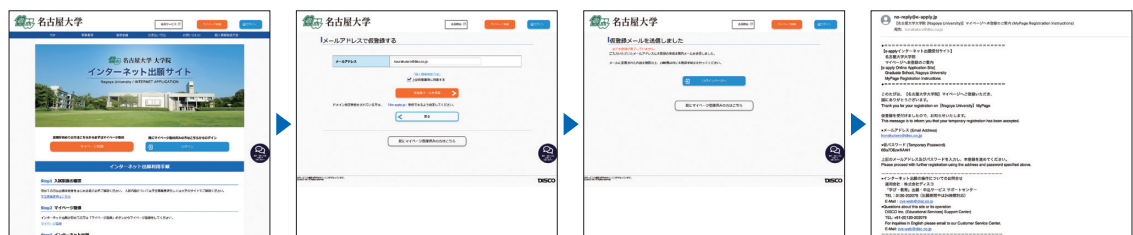


STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
 なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
 ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
 クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
 クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
 初期パスワードと
 本登録用URLが届きます。
 ※@e-apply.jpのドメインからのメール
 を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
 登録したメールアドレスと④で
 届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
 クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
 行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
 クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
 クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

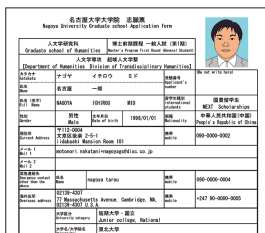


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
番号メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1**

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

名古屋大学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程へ進学する者及び国費外国人留学生は、入学検定料の支払いは不要です。出願内容の登録時に「検定料の免除について」をチェックしてください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機
または
Famiポート

あなたも、コンビニに
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

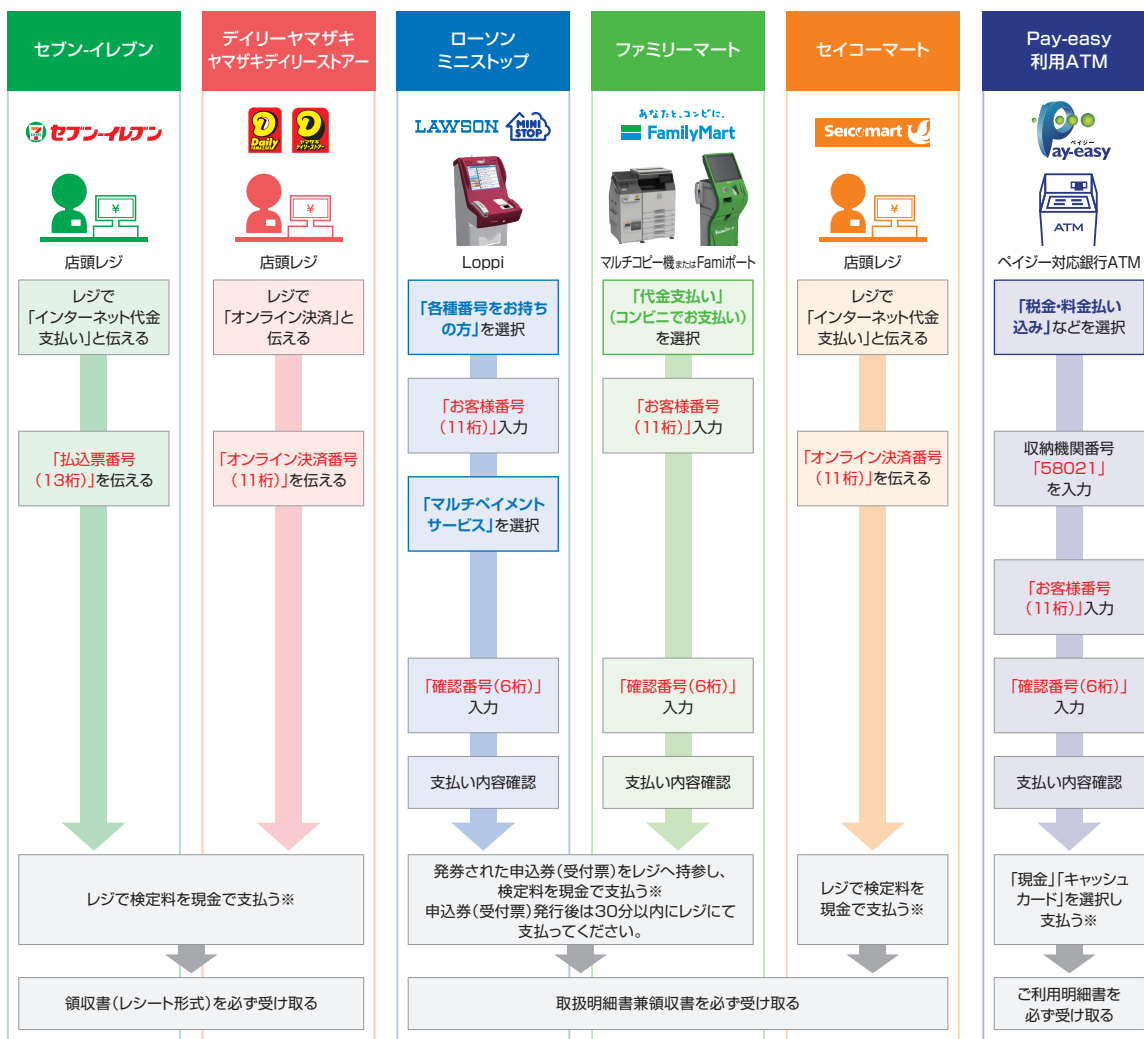
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6






必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類

▲ **募集要項を必ず確認してください**

- インターネット出願サイトから印刷する書類

- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類

- 出身大学等に発行を依頼する証明書


出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成



■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払期限は出願受付締切日の前日（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名:○○○○
入試:×××入試